学校番号	3020

令和８年度　商業科

教科	商業科	科目	プレゼンテーション	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	伝わるデザインの基本増補改訂３版～よい資料を作るためのレイアウトの基本ルール～高橋佑磨・片山なつ著（技術評論社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プレゼンテーションとは、「与えられた条件の下で、自分の知識や考えを相手にわかりやすく正確に伝え、受け入れてもらう」ための行動のことです。この科目では、プレゼンテーションに必要な知識や準備段階での思考方法、アプリケーションソフトを利用した視覚資料の作成方法、そして自己を表現し、相手に伝える技術・技術について学んでいきます。伝えたいことを正しく簡潔に伝える能力は、社会生活を営むうえでも必要不可欠です。グループワークなどを通して、周囲とのコミュニケーション能力の向上もはかりつつ、プレゼンテーション能力を身に着けることを目的とします。遅刻・欠席はせず、周囲と協調しながら課題等積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】

現代社会において、様々な情報を容易に発信できる一方で、適切なプレゼンテーションを行うための技術を学べる機会は少ない。プレゼンテーションに必要な資料の作成方法、プレゼンテーションを行ううえで必要な知識を身に着けることを目標とする。

【思考力、判断力、表現力等】

プレゼンテーションを行ううえで必要な知識、話し方や伝え方などの初歩的な技術や思考方法を身に着けることを目標とする。

【学びに向かう力、人間性等】

自らが発表者となることにより、聞き手としての態度を養い、両者のあいだに良好な関係を築く必要性を学び身につけること目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プレゼンテーションを行ううえでの必要な知識を理解しているか。 課題の目的を理解し、企画・準備に取り組めているか。また、わかりやすく伝えるための基本的な表現技法を理解しているか。	目的に応じたストーリー展開や資料の作成、話し方などについて考え、効果的なプレゼンテーション資料を作成し、発表を行えているか。 プレゼンテーション用ソフトウェアを利用して、わかりやすい資料を作成できるか。また、伝わりやすい話し方や言葉遣い、態度でプレゼンテーションを実施できるか。	効果的なプレゼンテーションの方法について興味を持ち、ストーリーの作成や資料の作成、発表などの実習に積極的に取り組むことが出来るか。また、周囲と協力しながら積極的に活動に取り組むことができているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プレゼンテーションについて	・プレゼンテーションとは ・プレゼンテーションの構成 ・プレゼンテーションの実施 ・視覚資料の作成 ・プレゼンテーション能力を高めるために	a: プレゼンテーションを行う上での必要な知識を理解しているか。課題の目的を理解し、企画・準備に取り組めているか。また、わかりやすく伝えるための基本的な表現技法を理解しているか。 b: 目的に応じたストーリーの展開や必要な資料、話し方などについて考え効果的なプレゼンテーションの資料の作成および発表が行えているか。 c: 効果的なプレゼンテーションの方法について興味を持ち、筋道の作成や資料の作成、発表などの実習に積極的に取り組むことが出来るか。また、周囲と協調しながら積極的に活動に取り組むことができているか。	実習課題 提出物 小テスト	実習課題 提出物 小テスト	実習課題 授業観察
	グループワークやコンピュータを用いたプレゼンテーション学	・個人課題(紹介型) ・グループ課題(提案型)		実習課題 提出物 小テスト	実習課題 提出物 小テスト	実習課題 授業観察
2学期		・グループ課題 （提案型および調査・報告型）		実習課題 提出物 小テスト	実習課題 提出物 小テスト	実習課題 授業観察
3学期		・個人課題 （紹介型および調査・報告型）		実習課題 提出物 小テスト	実習課題 提出物 小テスト	実習課題 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度